共にしあわせ産みだす日本共産党
市議団ニュース
第２１５９号
２０２５年１２月７日
日本共産党根室市議団
根室市宝林町４－２０３
TEL ２３－６０２３
FAX ２４－１６８４

# 治安維持法の時代を考える講演会

11 月 29 日、根室市総合文化会館において、「治安維持法の時代を考える講演会」が開催されました。ねむろ「九条の会」の主催。講師は東京藝術大学講師の川嶋均氏。市内外から約 50 名の方が参加し、熱心に耳を傾けました。（下写真：マイクを持つ方が川嶋氏）

講演会の目的は次のとおり。１９２５年に制定された治安維持法は２度の改正を経て弾圧対象を広げ、特高警察は多くの民主運動や文化・教育、宗教まで取り締まりました。北海道でも厚床尋常小学校に勤務していた横山眞をはじめ教員が大量検挙、投獄されました。これらの悲惨な事件を通して激動の昭和時代を振り返りながら、日本を再び「戦争する国」としないために、みなさんと一緒に考えたいと思います。

講師の川嶋氏は、現在東京藝大のドイツ語講師。２０１５年に「自由と平和のための東京藝術大学有志の会」を立ち上げ、17年から20年にかけ《芸術と憲法を考える連続講座》を毎月開催、その企画・運営に携わる中で、北海道で美術教育が弾圧された「生活図画事件」の調査に着手、埋もれた資料・関係者を探して各地を歩いています。

川嶋氏は、特高警察がいかにして罪をでっちあげ、熱心な教師たちを弾圧していったかを、膨大な資料を基に分析し、参加者に分かりやすくお話しされました。氏は、最近の危険な情勢に触れ、日本国憲法に謳われている戦争放棄や表現の自由、人権や民主主義の重要性を強調されました。

## 「北方領土返還要求中央アピール行動」実施！！

右写真は行進前の出発式の様子です。今年は、例年会場とされていた日比谷野外音楽堂が改修中のため、銀座ブロッサム中央会館で行われました。

開会式では、主催者である「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会」会長の石垣雅敏根室市長をはじめ、鈴木直道北海道知事や来賓の黄川田仁志内閣府特命担当大臣、国光あやの外務省副大臣、津島淳内閣府副大臣があいさつしました。

また、衆参の沖縄及び北方問題に関する特別委員会の委員などが紹介されました。日本共産党からは岩渕友参議院議員が出席しました。

出発式の最後に、多楽島出身の元島民の方が「ふるさとが一日も早く返るよう、外交交渉の下支えとして返還運動を続けてきたが、残念ながら島は返らず、自由にいけない。しかし、他界した仲間の墓前に吉報を伝える日まで、返還運動の火を消すことなくまい進し、力強く行進する」と決意を表明しました。

出発式終了後、80代の元島民から10代の高校生まで、また、根室市と姉妹都市の富山県黒部市をはじめ、全国各地から来られた約５００名の参加者が、京橋公園前から常盤橋公園までの約２kmを「北方領土を返せ」「領土交渉を再開しよう」「返還要求運動に参加しよう」「墓参を早期に再開しよう」「返還要求運動の輪を広げよう」とシュプレヒコールしながら、元気よく行進しました。